

1班 フォークロア

フォークロアとは、「民族、民間伝承」の意味で、世界各地の民族衣装をモチーフにしたファッションのスタイルを指します。フォークロアはそれぞれの国や地域の特徴的な衣装で、言語や歴史、宗教などが影響されます。そこから私たちはテーマのフォークロアからヒッピーに絞りました。

ヒッピーとは、アメリカから世界に広がっていきました。「自由に生きる」「自然を愛し、愛と平和を訴え、自由な生き方」このような考えを持つ人々を指します。愛や平和の象徴として、鳥、花などのデザインや、カラフルな色を選んでいるのが特徴です。

それを現代風にアレンジしました。





デザインは、世界のファッションショーから、フォークロアやヒッピーをテーマとしている作品を探して、参考に考えました。

ベルトのパターンを引き、縫製作業を行いました。パターンでは、細かく切り替えを入れたため、手縫いに苦戦しました。



袖のパフスリーブと肘の部分で素材を変えて、製作しました。肘の部分はウールフリスを使用しました。ウールフリスは伸びがいい素材なので、少し小さめに作ることで、腕にぴったりなサイズになって、パフスリーブの部分と差をつけることができ、メリハリのあるデザインに仕上がりました。

1-3



本来はタイトスカートにフリンジが一般的ですがあえてフレアスカートにしました。トップスが黄色だったのでフリンジ用に黄色の生地も染めましたが合わせてみると青だけのほうがきれいでした。



グラデーションに染めた生地だったので、身頃と袖のグラデーション具合が同じになるように裁断に気を付けました。すっきりとしたシルエットでかっこいい感じにするために、身頃を前身頃、わき身頃、後ろ身頃とパターンを分けました。

刺繍はランダムでメタリックの糸を使ってしあげました。

1-5



ベストなので、他の衣服がどんな柄や色でも合うようにシンプルなデザインと色味がいいと考え、またブラウスがしっかりと見えるようにしたいと思い、前開きタイプにして、留め具はないものにした。

1-6



フォークロアのテーマに合わせて、民族的な柄と流行りのタイダイ柄にすることに決めました。柄をキレイに見せたかったので形はシンプルに仕上げ、流行りのタイダイ柄を一色ではなく三色にしてはっきり映るように考えました。

1-7



カウボーイのような民族衣装をイメージしているので、フォークロアの民族衣装はブーツカットにし、パンツの表現を出すためにグラデーションに染色しました。色むらなどが出ないように、染色を何度も繰り返し工夫しました。

1-8



フォークロアというテーマなので、民族風な感じにしました。

生地はテンセルを使用しています。